



9月の乳がんサロンは、26日（木）に開催されました。テーマは「乳がんのトピック」でした。講師は、乳腺外科医師の郷田紀子先生です。

1. 乳腺外科の紹介

呉医療センター乳腺外科は、吉山、郷田、川又、安井の乳腺専門医で対応しております。新規患者様のご紹介は月平均40名以上で、乳がん検診異常、腫瘍の自覚など、多数ご紹介いただいております。昨年度乳癌手術件数も155例と、多くの患者様に安全性の高い手術を受けていただいております。

2. 乳がんの種類と治療

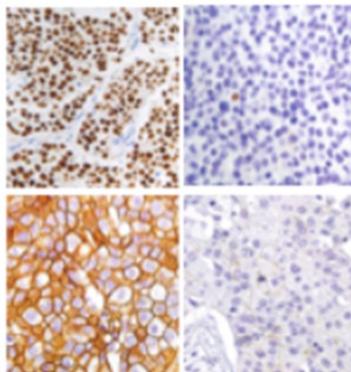
乳癌の約90%以上は「浸潤性乳管癌」と言われ、乳管(母乳の通り道)の細胞ががん化することが原因です。浸潤性の乳癌はタイプが分かれています。最も多いのが女性ホルモンを栄養源としている「ルミナルタイプ」、HER2(ハーツ)という蛋白を持っている「ハーツタイプ」、および、上記のいずれも持たない「トリプルネガティブタイプ」があります。

乳がんのサブタイプ

ホルモン受容体
(エストロゲン受容体/
プロゲステロン受容体)

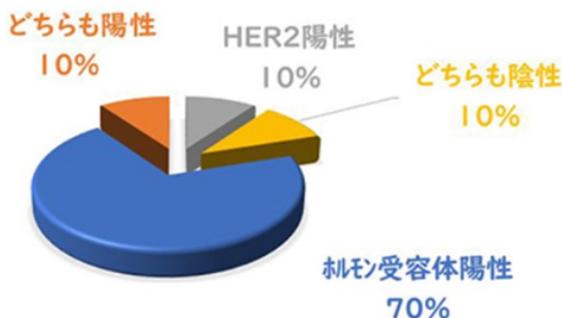
陽性

陰性



HER2蛋白過剰発現

サブタイプの割合



これらのタイプに応じて再発予防に使うお薬を選んでいきますし、投薬期間も違います。最新の研究結果に基づいてガイドラインで推奨された、一番効果のある治療を行っていきます。

周期薬治療はよりきめ細やかに

乳がん細胞のサブタイプによって再発予防で使う薬と投薬期間が違います

ルミナルタイプ: ホルモン受容体陽性 HER2陰性

・ ホルモン療法(5-10年間) + 抗がん剤 (3-6か月) ± CDK4/6阻害剤 (1-2年間)

HER2タイプ: HER2陽性

・ 抗HER2療法 (術前後1年間) + 抗がん剤 (6か月)

トリプルネガティブタイプ: ホルモン受容体陰性 HER2陰性

・ 抗がん剤 (6か月) ± 免疫チェックポイント阻害薬(ICI) (術前後13か月)

また、高齢者の乳癌治療においては、手術が最重要とされています。現代の全身麻酔はとても安全です。全身状態を事前に把握して麻酔を行えば、問題なく手術が行えます。術後の経過も若い方とほとんど変わりません。

乳がん治療の流れ



3. 治療後のフォローアップ

乳がんの手術や放射線治療、抗がん剤治療がひと段落したら、術後のフォローアップを10年間行っていきます。かかりつけの先生と連携しながら、ルミノールタイプの方には5-10年間のホルモン療法をお勧めさせていただいています。処方中の副作用対策もできる限り行っていきます。



4. 最後に

乳がんと診断されてから、治療中、そして、治療が終わってからもずっとご不安に思われると思います。インターネットやSNS、お知り合いの方の体験談など、折に触れられることも多いと思います。また、「こんなこと聞いてもいいのかな?」と思われることもきっとたくさんおありだと思います。「患者さんのための乳がん診療ガイドライン」や「乳がんいつでもなんでも相談室」のご紹介をさせていただきます。

ご自分の知りたい内容を無料で閲覧できますし、内容も偏りのないものと言えますのでご参考にされるにはお勧めです。

患者さんのための乳がん診療ガイドライン2023年版

日本乳癌学会 ガイドラインについて 詳細情報について ガイドライン請求 お問い合わせ先 印刷版

患者さんのための
2023
年版
乳がん
診療ガイドライン

- 日本乳癌学会が作成したガイドライン(指針)です
- だれでも無料で見れます。本を買うこともできます。

<https://jbc.srv.jp/guideline/p2023/>



乳がんいつでもなんでも相談室

乳がんの専門家があなたの疑問にお答えします

ホーム Q&A一覧 質問フォーム リンク集

- 広島大学乳腺外科グループの医師で回答させていただき相談サイトです。
- 全国の方から多くの相談をいただき無料で回答が得られます。

5. メッセージ

- がんは早期発見できる病気で完治が望めます。
- しこりの状態で最適な手術の方法を提案します。
- タイプに応じたお薬で再発を予防していきます。
- がんのお薬は日々進歩しています。
- がんに関するインターネットの情報はうまく利用する必要があります。

適切な情報源であることをご確認ください、うまく活用されることをお勧めします。ご不安が最小限になるよう今後も診療を続けてまいりますので、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。



【事前申し込み・お問い合わせ先】

呉医療センター・中国がんセンター
がん相談支援センター

☎ : 0823-24-6358 (直通電話)

平日 : 9時~16時

よろず・がん相談窓口 (④番窓口)

平日 : 8時30分~17時15分

寄稿 : 乳腺外科医師 郷田紀子先生

編集 : がん相談支援センター